

あけましておめでとうござい ます

gofai\$ fz'epknlfifxlb\$ z'ès flgl

2014 年も皆様のご健康とご多幸をお祈り致します

特定非営利活動法人ミランクラブジャパン

理事長 マダーブ ナラエン マナンダール

今年ミランクラブジャパンは 26 周年を迎えました。このように活動を継続できるのも会員皆様のご支援とご協力があったからこそのものであります。心から感謝しております。

まず最初に、今年の活動をご報告したいと思います。10/5～10/6 日比谷公園での“グローバルフェスタ JAPAN2013”に参加しました。2つのブースを借り、活動紹介、物品販売とサリー着付け、もう一つでネパール料理販売を行いました。どちらも大勢の人で賑わいました。10/6は鎌倉大仏内での“かまくら国際交流フェスティバル2013”に参加し活動紹介、ネパール雑貨販売を行いました。10/19～10/20 横浜で“よこはま国際フェスタ2013”に参加し紹介、雑貨販売を行いました。11/2～11/3 さいたま新都心で行われた“埼玉国際フェア”でも紹介や雑貨販売、サリー着付けを行いました。皆様のご協力により昨年も例年通りの活動を展開でき感謝しております。こうした参加型のボランティア活動はとても大事で、会員同志が集える場ともなっているのは嬉しいものです。昨年は生活協同組合コープみらい助成金事業の協賛として 11/6 コープ春日部で 12/13 コープ宮原でサリー体験教室を行うこともできました。参加の方々にネパールの教育事情等を伝えられ、関心を持ってもらえたのは有意義でした。こうした地道な活動は今後とも続ける必要があると痛感しています。

昨年はまたミランクラブジャパンにとっては節目の年でありました。発足 25 周年を迎え、記念誌発行、イベント開催を行うことができ、多くの方々に参加して頂くこと

ができました。12/1 “ミランクラブジャパン創立 25 周年記念セミナー”は駐日ネパール大使マダン・クマール・バッターライ閣下を来賓に招き、独立行政法人国際協力機構（JICA 地球ひろば）の後援で東京市ヶ谷にある JICA 市ヶ谷ビルで行いました。

講演に先立ち、私からミランクラブの歩みと現状についてスライドを通して説明を行いました。大使閣下からは、日本とネパールの関係はとても古く、仏教やヒマラヤ登山関係の例を挙げて、ネパール人は日本のことを身近に感じていることやネパールは日本からも多くの支援をうけていて、これからも 2 国間の親密な関係が続きますよう、またミランクラブジャパンの活動をとっても評価され、ネパールと日本の架け橋になっていることはとても嬉しいと挨拶されました。

そして記念セミナー第 1 部はネパール事情に詳しい JICA の杉本充邦氏による“ネパールの教育プロジェクトに従事して 学校保健の現場から”でした。1 時間の講演では、ネパールの社会、文化、風習および教育等について幅広く細かな説明がなされ、多くの参加者の関心を誘い、有意義な時間を持つことができました。ネパールの新事情も聞け、ネパールをもっと見近に感じられたに違いありません。

当日は会員の方々、会員以外の方々、在日ネパール人、飛び入り参加の方、そしてミランクラブジャパンを昔から応援して下さっている方々も参加され、とても嬉しかったです。

第 2 部は“天空に響くヒマラヤの笛”で

のネパール出身インドラ・グルン氏による Bansuri (竹笛) 演奏となり、会場は一気にネパールの雰囲気になりました。ご子息のジャンベ (太鼓) との共演も素晴らしく心地良いリズムと音色に何倍も楽しむことができました。演奏後は多くの方々が一緒に記念撮影をされていました。

イベントの締め括りは会場に用意されたネパールの軽食と飲物を取りながらの懇親会になりました。

そこではいろいろな感想を聞くことができました。ミランクラブの継続的な活動内容を聞いて良かったとか、25年も続いていることはとても素晴らしいとか、10数年振りに新旧会員と会えて嬉しいとか、様々な話を聞けました。皆様にとって楽しい一時を過ごせたのではと思います。このような息の長い活動に参加されてきた皆さんにとっての同窓会になったように感じました。

参加の皆様には巻頭言集「ナマステ」を一冊ずつお配りしました。この記念誌は20数年間に渡り毎月の会報に執筆した巻頭言の中から抜粋し、発行したものであります。これを読んでミランクラブの歩みやネパールの事情を再度見つめ直すことができましたとか、懐かしく思いましたとか、非会員の方からは、これから入会したいとの希望も聞くことができました。

この巻頭言集を発行するに当たり、生活協同組合コープみらいさんからご支援を頂き、ミランクラブジャパン理事の方々の努力でイベント当日まで間に合うように発行することができ、心からの感謝の気持ちです。改めて私たちの活動はもっと続けなければいけないなと感じました。

次に現在の里子、職業訓練所、ダルマスタリ学校等について簡単にご報告します。

1. ミラン里子制度

ミラン里子制度は、1990年から始まりま

した。現在里親会員は94名です。会員からの支援金は利子の高いネパールの金融機関に預け、その利子から支援を行っています。ミランクラブの支援の方法は、他団体の短期の支援と違い、自立可能な高校卒業までとなっています。又、高校を優秀な成績で卒業し、進学希望がある里子にも支援をしています。1990年に1人の里子から始まったこの制度は現在総計775名になりました。現在この制度を受けている子供たちは313名です。内訳は、小～高等学校で256名、大学生57名です。社会人になっている里子は200名以上います。

年度別里子支援数 (人数/年度)			
1/1990	1/1991	11/1992-93	19/1994
29/1995	23/1996	29/1997	27/1998
37/1999	45/2000	26/2001	31/2002
32/2003	118/2004	26/2005	54/2006
34/2007	42/2008	31/2009	35/2010
33/2011	46/2012	45/2013	

里子たちの中には教員、会社員、エンジニア、医師、看護婦などの職業に就き自立し、社会貢献している卒業生も増えていきます。結婚した里子たちは教育の大切さを子供たちに伝えていくことでしょう。

ミランクラブは毎年支援金で賄える範囲で新しい里子を受け入れています。教育支援費は小学校1年生から高校10年生は400ルピー (約400円) そして成績優秀で卒業し短大以上の学生にも700ルピー (約700円) 支援しています。

短大生、大学生の場合、特別里親の方が支援して下さった場合、奨学金は中止となります。現在特別里親12名で19名の里子を支援しています。

2. ミラン職業訓練所

職業訓練所はミラダルマスタリ学園センター敷地内にあります。現在、教育環境

整備会員の会費から職業訓練所運営にかかる教師の給料や設備費などを賄っています。昨年は6カ月コースのミシンクラスを1回実施しました。職業訓練は多くの村人たちの自立支援に役立っています。

またミランダルマスター学園センターを中心に、機材を使っていない時はミランクラブネパールの支部がある地方に貸出して、地方でも職業訓練を行っています。

職業訓練での材料費は実費となります。今後はより多くの村人たちが職業訓練を受けられるように、会員を増やしていきたいと考えています。

また学校敷地内にあるため、一部の学生に、ここの設備が使えるよう工夫されています。

3. ミランダルマスター学校

ネパール教育省の登録方針の下、ミランダルマスター学校は保育園～10年生(高等学校)までの校舎になっています。学校教職員は19名(男9名、女10名)います。そして全校生徒は298名います。男女それぞれ149名です。

ミランダルマスター学校生徒数		
学校	学年	生徒数
保育園	1年	25
幼稚園	1年	27
	2年	35
小学校	1年	28
	2年	24
	3年	24
	4年	23
	5年	28
中学校	6年	20
	7年	11
	8年	19
高等学校	9年	20
	10年	14
合計		298

ミランクラブの主旨に基づいて学校は、

一人でも多くの子供が学校へ行けるようにと奨学金制度も設けています。現在、奨学金を受けている生徒は41名います。

各学校の評価は、難関である高等学校卒業試験(SLC)にどれだけ生徒が合格するかで決まります。ミランダルマスター学校では合格率100%で、昨年も一昨年並みの特等級や一等級といった優秀な成績を残すことができました。今年の受験生は14名います。頑張っで欲しいです。

学費設定は、経済的に恵まれない子供たちも通学できるよう、他の私立学校から比べると5分の1となっています。公立学校から比べても2分の1弱となっています。

学校にはまだまだ設備等は不足していますが、運営可能範囲で、毎年全生徒の健康チェックや年2回遠足なども行っています。学校の評判はとても良く、遠方からも通って来ています。ミラン寄宿舍の利用も増えるかと思えます。

4. ミラン図書室

図書室には保育園から大学まで幅広く使える図書が揃えられ、多くの生徒に利用されています。約8千冊以上の図書があり、インターネットや印刷機も利用できるので、学校の授業にも活用されています。この図書館は地域の村人にも一部開放されています。現在、図書館の管理は、ミラン奨学生のスミトラ・アディカリが行っています。

5. ミラン寄宿舍

寄宿舍には、現在15名の生徒がいます。学校と同じ敷地内にあるのと校長先生一家、管理人、コックも住んでいるので、安全面でも管理しやすくなっています。規則正しい生活が送れる上、勉強も見てもらえるので、親は安心です。

最後に、私達の活動は今後も続きます。どうぞ皆様の温かいご支援とご協力、ご理解を今後ともよろしくお願い申し上げます。